

【岩木川】 流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (案)

【フルセット版】

令和6年 3月
青森河川国道事務所

岩木川水系流域治水協議会(岩木川流域)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

流域治水の広報

- 広報誌・研修会で水害・土砂災害に関する啓発活動を実施
- テレビやYouTubeを使用した流域治水の広報活動



教育活動

- 小・中学校での防災教育の実施
- 住民や企業を対象とした出前講座の実施
- ダム見学・模型を用いた防災教育
- 地元小学生を対象とした林業体験活動及び植物観察を実施



訓練活動

- 近隣市町村で連携した統合 防災訓練
- 緊急排水訓練の実施
- 大規模洪水を想定した住民参加型の避難行動訓練の実施



情報伝達手段強化

- SNS(LINE)による情報発信
- 地域の防災リーダーと連携した情報伝達手段の多重化

リスク情報等の提供

- キキクルを使用した、浸水、土砂、洪水の情報提供
- ダム下流浸水想定区域等の発表
- 総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップの更新・配布



水災害対策の支援

- 岩木川総合防水演習
- 水害時の排水機能強化のため、排水ポンプの導入
- 田んぼダム普及・促進のため、マニュアルやパンフレットを作成
- 災害支援体制理解の促進(TECFORCE、リエゾン、災害 対策用機械等)

森林づくりへの住民参加

- 一般参加者を募集し、広葉樹を植樹する森林づくりを実施

水防活動の支援

- 自主防災意識に対する活動支援補助金制度の整備
- 防災備蓄倉庫・防災備品の整備

計画策定

- 要配慮者利用施設の避難確保計画の策定・促進



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川水系流域治水協議会(岩木川流域)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
① 知る機会を増やす ◎流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 ◎情報伝達手段強化 地域 個人		広報誌・研修会で水害・土砂災害に関する啓発活動を実施 テレビやYouTubeを使用した流域治水の広報活動 ● 河川空間の利活用を通じた意識醸成としてイベントを実施		
	● 地域の防災リーダーと連携した情報伝達手段の多重化 LINE・防災行政用無線を活用した情報発信			
② 自分事と捉えることを促す ◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 ◎教育活動 地域 個人 ◎訓練活動 地域 個人		総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップの更新・配布 キキクルを使用した浸水、土砂、洪水の情報提供		
		小中学校での防災教育の実施、避難訓練におけるアドバイスの実施 住民や企業を対象とした出前講座の実施 ダム見学・模型を用いた防災教育		
	緊急排水訓練の実施 岩木川総合水防演習 ●	近隣市町村で連携した統合防災訓練 大規模洪水を想定した住民参加型の避難行動訓練の実施 ●		
③ 行動を誘発する ◎計画策定 地域 個人 企業・団体 ◎水災害対策の支援 個人 ◎森林づくりへの住民参加 個人 ◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体		要配慮者利用施設の避難確保計画の策定・促進		
		田んぼダム普及・促進のためマニュアルやパンフレットを作成 ● 地方自治体への災害支援体理解促進 (TEC-FORCE、リエゾン、災害対策用機械等)		
		一般参加者を募集し、広葉樹を植樹する森林づくりを実施		
		防災備品の整備・配布 自主防災組織に対する活動支援補助金制度		

岩木川水系流域治水協議会（青森河川国道事務所）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 重要水防箇所合同巡視の実施
(R5実績:岩木川上流:67人、下流:92人)



流域治水の広報

- 流域治水の取り組み推進のための広報や関係機関調整
- SNSを使用した防災情報の共有
- インフラDX（三次元ハザードマップ等）による流域治水広報の実践



教育活動

- 出前講座等の実施(R5実績:約90名、3回)
- 小学生の体験学習として、水生生物調査、河川の学習会を実施



計画策定

- 河川整備計画の変更を検討
- 岩木川中流・上流緊急治水対策プロジェクトの実施



訓練活動

- 岩木川総合防水演習
- 水防工法訓練
- 緊急排水訓練の実施



水防活動の支援

- 水防拠点の整備



水災害対策の支援

- 河道掘削・堤防整備
- 道路高台等への避難場所の整備・確保



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人・企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(青森河川国道事務所)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
① 知る機会を増やす ◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 ◎連携活動 地域 個人	流域治水の取り組み推進のための広報や関係機関調整			
	重要水防箇所合同巡視 (岩木川上流・下流) ●			
② 自分事と捉えることを促す ◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 ◎教育活動 地域 個人 ◎訓練活動 地域 個人	◎リスク情報等の提供			
	出前講座 ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進			
	岩木川総合水防演習 ● 水防工法訓練・緊急排水訓練の実施			
③ 行動を誘発する ◎計画策定 地域 個人 企業・団体 ◎水災害対策の支援 個人 ◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	河川整備計画の変更検討			
	河道掘削・堤防整備の推進			

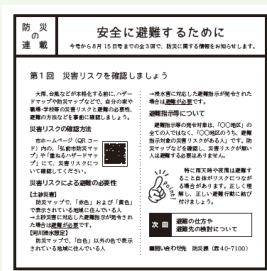
岩木川水系流域治水協議会（弘前市）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

洪水ハザード情報等の周知

- 広報誌「広報ひろさき」での防災特集連載
※災害時の避難に係る周知(計3回)
- 岩木川ダム統合管理事務所主催訓練の周知協力(1回)
- 弘前市ホームページにおいて、洪水ハザード情報の具体的な調べ方を周知



← 広報ひろさき
↓ 弘前市HP

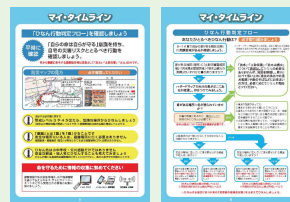


- 指定緊急避難場所への看板設置
(N=1基 南大町児童公園)



教育活動

- 小中学校での防災教育の実施・マイタイムラインを活用した出前講座
・小中学校(10校、10回、1,645人)
- 弘前市防災マップを用いた、洪水・土砂災害ハザード情報の確認、避難情報、避難先などを確認する勉強会を実施。
・町会等(8団体、8回、156人)
・福祉団体等(3団体、3回、45人)



弘前市防災マイスター

- 弘前市防災マイスター育成・活動支援
・育成講座(32人新規認定 計432人認定)
・ステップアップ講座開催予定(R5.1.27予定)
- 防災教育に講師として派遣(4人、4回)

訓練活動

- 弘前市総合防災訓練の実施
(1回、200人)
- 図上訓練の実施(5市町村、28人)



水防活動の支援

- 排水ポンプシステム導入
- 緊急排水訓練の実施



自主防災組織・町会等の活動支援

- 自主防災組織・町会で実施する訓練等の支援
(1団体、40名)
- 自主防災組織等を対象とした研修
(24団体、42名)
- 市と町会等のネットワーク構築(R5.12スタート)
(266町会/326町会)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(弘前市)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>①知る機会を増やす</p> <p>◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>広報誌、ホームページ等で水害リスクや水害時の避難行動について周知（主に出水期前。以降、随時掲載。）</p> <p>水害時に使用できない指定緊急避難場所に看板を設置</p>			
<p>②自分事と捉えることを促す</p> <p>◎教育活動 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>小中学校での防災教育の実施、避難訓練におけるアドバイスの実施</p> <p>弘前市防災マップを用いた勉強会の実施（町会、自主防災組織、福祉団体など）</p>			
<p>◎弘前市防災マイスター 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>弘前市防災マイスター育成講座</p>			<p>ステップアップ講座</p>
<p>◎訓練活動 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>排水ポンプ訓練（予定）</p> <p>● 岩木川総合水防演習</p>		<p>● 青森県総合防災訓練（弘前市開催）</p>	
<p>③行動を誘発する</p> <p>◎自主防災組織・町会等の活動支援 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>自主防災組織等を対象とした研修案内、自主防災組織・町会で実施する訓練等の支援</p>			
<p>◎水災害対策の支援 個人 </p>	<p>市民等への土のう等の配布</p>			

岩木川水系流域治水協議会（五所川原市）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

教育活動

- 自主防災組織、町内会等への防災講話（年10～20回実施）



リスク情報等の提供

- 総合的な防災マップの作成・配布、
- ハザードマップの更新・配布・周知



訓練活動

- 消防団による排水ポンプ訓練（年1～2回実施）



計画策定

- 要配慮者施設の避難確保計画の作成促進と避難の実行性確保



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(五所川原市)



取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>①知る機会を増やす</p>				
<p>②自分事と捉えることを促す</p>				
<p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>ハザードマップの更新・配布・周知</p>			
<p>◎教育活動 地域 個人 </p>	<p>自主防災組織・町内会などへの防災講話</p>			
<p>③行動を誘発する</p>				
<p>◎計画策定 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保</p>			
<p>◎水災害対策の支援 地域 </p>		<p>● 消防団による排水訓練</p>		

岩木川水系流域治水協議会（つがる市）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

啓発活動

- 広報誌による啓発活動



防災備蓄倉庫研修

- 防災備蓄倉庫の研修 (研修者91名)



情報発信

- SNS (LINE) による情報発信



リスク情報等の提供

- ホームページ内のつがる市土砂災害ハザードマップの修正
館岡地区、菰樋地区、筒木阪地区、丸山地区、牛潟地区、車力地区、富范地区1、富范地区2

出前講座

- 防災ハザードマップを活用した出前講座 (7回、139人)



研修会

- 令和5年度青森県地域防災活動ネットワーク研修会参加 (職員1名 自主防災組織1名)
- 流域防災研修会参加 (自治会14名)



計画策定

- 要配慮者における個別計画の作成

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(つがる市)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
①知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	広報誌で水害・土砂災害を啓発 ●			
	LINE・防災行政用無線を活用した情報発信				
	◎連携活動 地域 個人	合同巡視 ●			
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の公表、(つがる市ハザードマップ、つがる市ホームページ)			
	LINE・防災行政用無線を活用した情報発信				
	◎教育活動 地域 個人	出前講座 ●	出前講座 ●	出前講座 ●	出前講座 ●
	ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進				
	◎訓練活動 地域 個人		住民参加型の避難訓練 ●		
③行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体	要配慮者個別計画の作成			
		研修会 ●		研修会 ●	
	◎水災害対策の支援 個人				
◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	水防団への情報伝達体制の強化				

岩木川水系流域治水協議会（平川市）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

情報伝達手段の多重化

- 地域の防災リーダーとの連携強化
メールを活用した連絡体制を構築し、災害発生の際の恐れがある場合の情報伝達手段を強化



水災害に関する広報

- 水害リスクに関する広報周知
 - ・防災マップの確認
 - ・気象情報の確認
 - ・非常用持ち出し品



教育活動

- 自主防災組織に対する講演活動
- 市内小学生に向けた防災教育
 - ・令和5年度は防災カードゲームを活用した授業を実施



リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害計画区域等の周知
- 総合的な防災マップの作成・配布
- 避難場所や経路等に関する情報を周知



避難確保計画策定支援

- 避難の円滑化を図るため、福祉施設等に対し避難確保計画の策定支援

水防活動の支援

- 自主防災組織に対する活動支援補助金制度の創設
 - ・一定の活動を要件に世帯数に応じた資機材購入等に活用できる補助金を支給。



訓練活動

- 建設協会、消防署、民間企業、消防団、地域住民等と連携した総合的な防災訓練の実施



水害・水防対策の支援

- 地域団体と連携した防災訓練等の実施
- 水防団(消防団)と連携した水害訓練



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(平川市)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす ◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 ◎連携活動 地域 個人		広報誌で水害・土砂災害を啓発 ●		
	関係機関等と連携した総合的な水防演習の実施 ●	町会行事にあわせた防災講演の実施 →		
②自分事と捉えることを促す ◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 ◎教育活動 地域 個人 ◎訓練活動 地域 個人	災害時における情報伝達手段の周知 → 防災行政無線設備の更新 →	避難場所や経路等に関する情報の周知、市民への情報提供、メディア連携 →		
	小学校等の学習機会にあわせた市職員による出前講座 → 防災学習に関する機会の周知、防災士資格取得費補助金の周知 →			
	住民参加型の避難訓練の実施 ● 防災マップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進 →			
	要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 → 個別避難計画策定に向けた取り組み →	避難所看板の多言語化に向けた取り組み →	災害時の応援協定と水防団の情報伝達体制の強化 → 自主防災組織に対する活動支援補助金制度 →	
③行動を誘発する ◎計画策定 地域 個人 企業・団体 ◎水災害対策の支援 地域 ◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体				

岩木川水系流域治水協議会（藤崎町）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

広報活動

- 防災研修会等を開催し、自主防災組織の設立を促す(35人参加)



リスク情報等の提供

- 総合的な防災マップの作成予定。洪水ハザードマップの更新、地震危険度等の追加

計画策定

- 防災訓練をとおりて、自主防災組織等の避難計画等の見直しを促す

訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施(町職員、社会福祉協議会、町内会、自主防災組織 157人)



- 岩木川総合水防演習
令和6年度、国土交通省による岩木川総合水防演習を予定している。岩木川左岸河川敷(鶴田町)を会場とし、水防技術の向上、地域社会の防災意識の向上及び災害対処能力の向上を目的としている。

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(藤崎町)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>①知る機会を増やす</p> <p>◎広報活動 地域 個人 </p>		<p>防災講話、研修会 ●</p>		
<p>②自分事と捉えることを促す</p> <p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 団体 </p> <p>◎訓練活動 地域 個人 団体 </p>	<p>岩木川総合水防演習 ●</p>	<p>住民参加型の避難訓練 ●</p>	<p>藤崎町防災マップの作成 (洪水ハザードマップの更新・地震情報等の追加)</p>	
<p>③行動を誘発する</p> <p>◎計画策定 地域 個人 </p>			<p>避難計画等の見直し</p>	

岩木川水系流域治水協議会（板柳町）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 防災をテーマとした男女共同参画フォーラム開催(R6. 2. 3 避難所運営訓練で調整)
- R4. 8月に大災害を経験した鱒ヶ沢町役場を訪問し、避難所開設時の留意点を教示(R5. 8. 2 職員2人)
- 民間主催の防災教室(防災知識の向上)への参加(R5. 8. 5 職員2人)
- 町内会長、行政連絡員等を対象とした防災に関する勉強会 (R5. 12. 19 約60人)
- 役場職員を対象とした防災に関する勉強会 (R5. 9. 11 約80人)
- 民間主催の防災教室(避難所運営訓練)への参加(R5. 12. 9 職員3人)
- 青森テレビとのSDGsパートナーシップ協定締結 (R5. 12. 14)



リスク情報等の提供

- 新規転入者へのハザードマップの提供

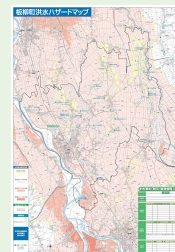


- 避難場所等に関する情報の周知 (毎戸配布・ホームページ)



計画策定等

- 避難行動時における持出し品リストを全世帯に配布 (R5. 7. 28 約5, 500世帯)



地域防災力の強化

- 流域治水の取組み並びに緊急治水プロジェクトの進捗に関する情報交換 (R5. 12. 20 国・町)
- 県有施設を避難所として位置広域避難行動に結びつけることを提案 (R5. 10. 30 西北地域県民局との意見交換)
- ドラッグストア2社との防災協定締結 (R5. 10. 17)
- 株式会社津軽りんご市場との防災協定締結 (R5. 10. 12)
- 一次避難所となる小中学校において避難所開設時の配置を確認(R5. 9. 27)
- 役場幹部職員によるLINEを活用した災害情報の共有 (R5. 7月～)
- 役場幹部職員の閉庁日等における所在場所共有 (R5. 7月～)

水災害対策の支援

- 水防資材のストック状況の共有 (役場、町内会等)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(板柳町)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
①知る機会を増やす ◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 ◎連携活動 地域 個人	洪水ハザードマップの配布等				
	小学校の社会科見学等の機会を利用しダム（津軽ダム・浅瀬石川ダム等）の役割等を説明 民間団体主催の防災教室等への参加				
②自分事と捉えることを促す ◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 ◎教育活動 地域 個人 ◎訓練活動 地域 個人	避難場所等に関する情報の周知、町民への情報提供、メディア連携				
	防災講話、研修会 ● 小中学校における 防災教育、出前授業 ●		●		
	中学生を対象とした避難所開設訓練 ●		住民参加型の避難訓練 ●		
				ハザードマップの周知および住民の水害に対する理解促進	
③行動を誘発する ◎計画策定 地域 個人 企業・団体 ◎水災害対策の支援 個人 ◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保				
	水防資材のストック状況共有 ●				
	水防活動資材の整備			災害時の応援協定と水防団の情報伝達体制の強化	

岩木川水系流域治水協議会（鶴田町）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

教育活動

- 住民を対象とした防災に関する研修会の実施(1回、30人)
- 「防災士」の資格取得支援(2回、6人)



リスク情報等の提供

- 広報誌で水害時の避難行動等を啓発
- 洪水ハザードマップを更新・配布(鶴田町内全戸に配布、町HP掲載等)



計画策定

- 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保(全対象施設作成済み)

水防活動の支援

- 水害時の排水機能強化のため、可搬式小型動力ポンプを導入。また、救助能力向上のため、デジタル簡易無線機やトランシーバー、レスキューボートを整備

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(鶴田町)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体			
	◎連携活動 地域 個人			
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	ハザードマップを活用した水害リスクの周知		
	◎教育活動 地域 個人			
	◎訓練活動 地域 個人			
③行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体	要配慮者利用施設の避難の実効性確保		
	◎水災害対策の支援 個人			
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	水害時の排水機能強化		

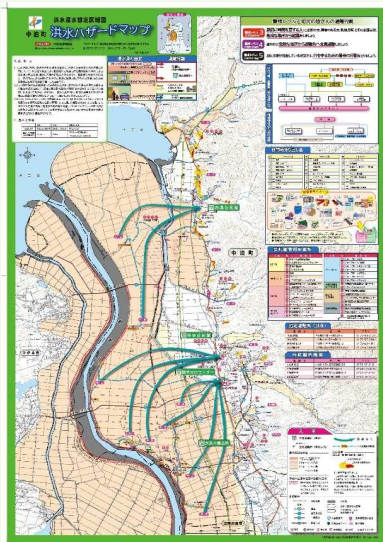
岩木川水系流域治水協議会（中泊町）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

流域治水の広報

- 岩木川浸水想定区域図、ため池ハザードマップ、土砂災害警戒区域を統合したハザードマップを作成・配布



教育活動

- 県事業を活用し、自主防災組織や町内会等を対象にした自主防災体験研修会の開催



- 中学生を対象に、一般社団法人男女共同参画地域みらいねっとが避難所運営体験を実施
将来の地域防災を支えるためのモデル事業



水災害対策の支援

- 自主防災組織の防災備品の整備



災害備蓄品の確保

- 大規模災害発生に備えた段ボールベッドやパーテーションなどを購入
(約2,500名分)



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(中泊町)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす ◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 ◎連携活動 地域 個人	● 広報誌で水害・土砂災害を啓発 ●			
	● 砂防施設を活用し、小学生を対象とした社会科見学 小学校の社会科見学等の機会を利用しダム・砂防堰堤等の役割等を説明			
②自分事と捉えることを促す ◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 ◎教育活動 地域 個人 ◎訓練活動 地域 個人		土砂災害ハザードマップの更新、配布等 避難場所や経路等に関する情報の周知、市民への情報提供、メディア連携		
	● 自主防災体験研修会		● 小中学校における防災教育	
	住民参加型の避難訓練	● ● ●	防災教育、避難訓練の推進	ハザードマップの周知、地域防災力向上のための集落単位での説明会、水防団の訓練
③行動を誘発する ◎計画策定 地域 個人 企業・団体 ◎水災害対策の支援 個人 ◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体		要配慮者施設等の実効性確保		
		災害時の応援協定と水防団の情報伝達体制の強化		

岩木川水系流域治水協議会（大鰐町）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

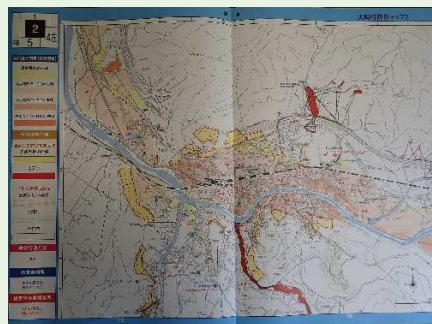
流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

流域治水の広報

○防災マップに令和元年10月青森県が公表した岩木川水系平川が氾濫した場合の洪水浸水想定区域と、当町における土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域、町が指定している避難所等の情報を掲載。町民への配布を行った。



リスク情報等の提供



訓練活動

訓練参加

○総合防災訓練を実施
(大鰐町、1回、150人)
訓練項目内に土のうの作成訓練を計画し実施した。



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す


水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(大鰐町)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
① 知る機会を増やす	◎流域治水の広報			
② 自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供	青森県が公表した岩木川水系平川が氾濫した場合の洪水浸水想定区域と、当町における土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域、町が指定している避難所等の情報を掲載		
③ 行動を誘発する	◎訓練参加	総合防災訓練の実施。訓練の項目内に水害に備えた土のうの作成訓練を計画。		

岩木川水系流域治水協議会（田舎館村）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

教育活動

○田舎館村防災講座(1回、32人)



リスク情報等の提供

- 洪水ハザードマップを更新・配布 (田舎館村)
- 水害リスクを踏まえた立地適正化計画及び防災指針のホームページによる公表(田舎館村)

訓練活動

○住民参加型の避難訓練を実施 (田舎館村、1回、23人)



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(田舎館村)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>①知る機会を増やす</p> <p>◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 </p>		<p>広報誌で水害を啓発 ●</p>		
<p>②自分事と捉えることを促す</p> <p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎教育活動 地域 個人 </p> <p>◎訓練活動 地域 個人 </p>		<p>防災講座 ●</p> <p>住民参加型の避難訓練 ●</p>		
<p>③行動を誘発する</p> <p>◎計画策定 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎水災害対策の支援 個人 </p> <p>◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体 </p>				

岩木川水系流域治水協議会（西目屋村）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

教育活動

- 小学校への防災教育、出前講座（1回、70人）



リスク情報等の提供

- 総合的ハザードマップの更新、配布
- 避難場所、避難所に関する情報発信（村ケーブルテレビ、村アプリ）
- 河川監視カメラの設置



訓練活動

- 消防団による水防工法訓練を実施（西目屋村、1回、約50人）



水災害対策の支援

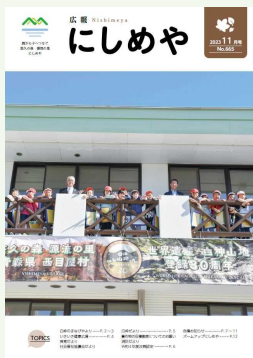
- 転入世帯に対する防災バッグの配布による早期避難促進啓発



計画策定

- 要配慮者の個別避難計画作成促進

広報紙での水害・土砂災害啓発



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(西目屋村)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>①知る機会を増やす</p> <p>◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎連携活動 地域 個人 </p>		<p>● 広報誌で水害・土砂災害を啓発</p>		
<p>②自分事と捉えることを促す</p> <p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎教育活動 地域 個人 </p> <p>◎訓練活動 地域 個人 </p>	<p>● 小中学校における防災教育、出前授業</p>	<p>● 消防団による水防工法訓練の実施</p>	<p>総合的ハザードマップの更新、配布等</p> <p>避難場所や避難所に関する情報の周知、市民への情報提供</p> <p>監視カメラの設置</p>	
<p>③行動を誘発する</p> <p>◎計画策定 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎水災害対策の支援 個人 </p> <p>◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>要配慮避難者の個別避難計画の作成促進</p>	<p>転入世帯に対する防災バッグの配布による早期避難促進啓発</p>	<p>災害時の応援協定と水防団の情報伝達体制の強化</p>	

岩木川水系流域治水協議会（青森県林政課）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

治山事業のPR

治山事業

治山事業は、森林法に基づき、保安林の指定目的を達成するために行う森林の造成事業です。

治山事業の役割とは

- 土砂災害に強い森林づくりを進め、安全で快適な暮らしを守る
- 森林の水源かん養機能により豊かな水を育む山づくり
- 海岸からの風砂等を防止する森林を育む
- 森林と人との共生林づくり



治山事業概要図

○県庁のHPIにて、治山事業の役割や大切さについてPR

土砂災害に強い森林づくりを進め、安全で快適な暮らしを守ります

○流域治水等に理解を深めてもらうため、「企業の森林づくり」中村川流域植樹セレモニーを銚子沢町民等を対象に開催



・R5.10月5日開催
・約60人参加

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

リスク情報等の提供

青森県 山地災害危険地区 位置情報の使い方

青森県 農林水産部 林政課

■画面構成について

画面構成は、下記に示すとおりです。それぞれの名称は、以下の解説で説明します。



○青森県山地災害危険地区(民有林)の位置情報等について、インターネット上で公開し地域住民へ周知

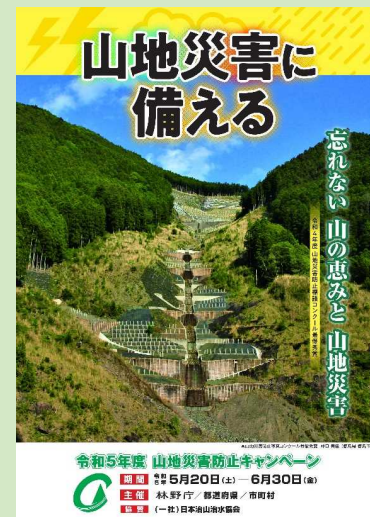
②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

山地災害防止キャンペーンの実施

○住民等に対する意識啓発を図るため、山地災害の防止に関するポスターとパンフレットを各関係機関に送付するとともに、県合同庁舎と各市町村ではロビー等に掲示

・実施期間
R5.5.20～6.30



③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(青森県林政課)



取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>① 知る機会を増やす</p> <p>◎治山事業のPR 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>県庁のHPにて、治山事業の役割や大切さについてPR</p> 			
<p>② 自分事と捉えることを促す</p> <p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>青森県山地災害危険地区（民有林）の位置情報等について、インターネット上で公開し地域住民へ周知</p> 			
<p>③ 行動を誘発する</p> <p>◎山地災害防止キャンペーンの実施 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>住民等に対する意識啓発を図るため、山地災害の防止に関するポスターとパンフレットを各関係機関に送付するとともに、県合同庁舎と各市町村ではロビー等に掲示</p> 			

岩木川水系流域治水協議会（青森県農村整備課）

結果報告： 具体的取組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

**雨水貯留の実践
(田んぼダムの取組の普及)**

○田んぼダムの取組マニュアルや農家向けのパンフレットを作成

**雨水貯留の実践
(田んぼダムの取組の推進)**

○ほ場整備事業により田んぼダム用の排水柵等を設置

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(青森県農村整備課)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>① 知る機会を増やす</p> <p>◎水田貯留の実践 (田んぼダムの取組の普及) 地域 個人 団体 </p>	<p>田んぼダムの取組マニュアル、パンフレットの配布</p> 			
<p>② 自分事と捉えることを促す</p> <p>◎水田貯留の実践 (田んぼダムの取組の普及) 地域 個人 団体 </p>	<p>田んぼダムの取組マニュアル、パンフレットの配布</p> 			
<p>③ 行動を誘発する</p> <p>◎水田貯留の実践 (田んぼダムの取組の推進) 地域 個人 団体 </p>	<p>ほ場整備事業により田んぼダム用の排水樹等を設置</p> 			

岩木川水系流域治水協議会（青森県河川砂防課）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

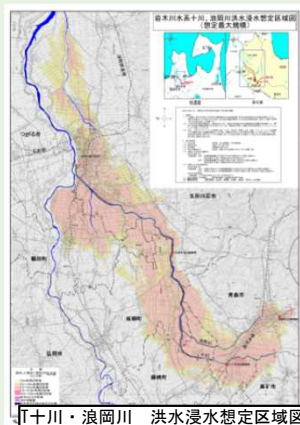
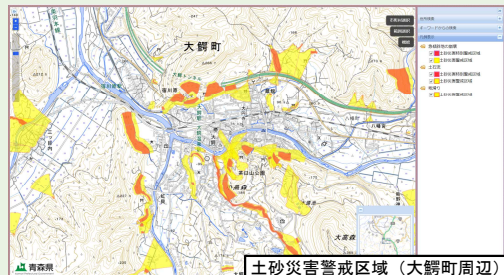
流域治水の広報

○テレビやYouTubeを活用した流域治水の広報活動



リスク情報等の提供

○浸水想定区域、土砂災害計画区域等を公表



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人・企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(青森県河川砂防課)



取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす ◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 ◎連携活動 地域 個人	様々なメディアを活用した流域治水の広報活動			
②自分事と捉えることを促す ◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 ◎教育活動 地域 個人 ◎訓練活動 地域 個人	浸水想定区域、土砂災害警戒区域の公表			
	川の防災安全教室、出前講座の実施			
③行動を誘発する ◎計画策定 地域 個人 企業・団体 ◎水災害対策の支援 個人 ◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体				

岩木川水系流域治水協議会（青森県危機管理局）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

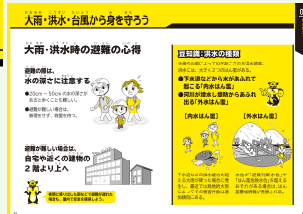
広報活動

○避難情報の運用に関するポスターの掲示及びマイ・タイムラインの周知



あおりマイ・タイムライン 風水害（台風・大雨）編	
警戒レベル	対応
5	避難指示が発令されたら、速やかに避難する。
4	避難指示が発令されたら、速やかに避難する。
3	避難指示が発令されたら、速やかに避難する。
2	避難指示が発令されたら、速やかに避難する。
1	避難指示が発令されたら、速やかに避難する。

○あおりおまもり手帳を活用した普及啓発



出前講座

○住民や企業を対象として、防災に関する知識の普及を実施（13回、827人）



教育活動

○分かりやすい教材等を用いた小学生への防災教育（2回、141人）



研修会開催

○自主防災組織の設立を促進するため、住民向けの啓発・支援を実施（15市町村、20回開催）



訓練活動

○市町村における風水害対策図上訓練の企画実施を支援（3市町村、3回）



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(青森県危機管理局)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>① 知る機会を増やす</p> <p>◎広報活動 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>避難情報の運用に関するポスターの掲示及びマイ・タイムラインの周知</p> <p>あおりおまもり手帳を活用した普及啓発</p>			
<p>② 自分事と捉えることを促す</p> <p>◎出前講座 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎教育活動 地域 個人 </p>	<p>住民や企業を対象として、防災に関する知識の普及を実施</p> <p>分かりやすい教材等を用いた小・中学生への防災教育</p>			
<p>③ 行動を誘発する</p> <p>◎研修会開催 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎訓練活動 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>自主防災組織の設立を促進するため、住民向けの啓発・支援を実施</p> <p>市町村における災害対策図上訓練の企画実施を支援</p>			

岩木川水系流域治水協議会（津軽森林管理署）

結果報告： 具体的取組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

国有林野事業の広報

○森林整備や治山事業の取組概要をホームページ上で発信

津軽の国有林
令和6年度版



津軽森林管理署
津軽森林管理署 金木支署

増進のために
いろいろな取組を進めています

保安林等の整備
土砂の流出・崩壊の防備や水源のかん養が特に求められる森林は「保安林」に指定し、良好な森林に整備しています。
当森林管理署・支署管内は、幕政時代から風・砂との戦いが行われてきた厚風山地域の約1千haの防風保安林をはじめ、全体の89%が保安林に指定されています。また、災害を防止するための「えん堀」を整備したり、崩壊地の植生を回復するための「山腹緑化」など、治山事業を推進しています。



厚風山治山工事

津軽林業の成長産業化に向けて

地域林業の成長産業化に向けて、管内の木材生産誘致事業を対象として、作業自衛服を活用した功程管理等による生産性向上の取組を実施しました。民有林を含めた地域に普及し木材生産力のアップを目指しています。



高性能作業自衛服の機動的配置

木材利用の推進

各種公共工事等に、間伐材等木材を積極的に活用するよう国土交通省をはじめとする関係行政機関に働きかけをしています。また、当森林管理署が行う治山工事や林道工事でも木材を積極的に活用することとしています。



間伐材を利用した治山工事

教育活動

○森林の役割や大切さ等の理解を深めるため、地元小学生を対象に林業体験活動および植物観察を実施(R5, 4回、71人)



森林づくりへの住民参加

○岩木川流域上流部の国有林において、一般参加者を募り、広葉樹を植樹する森林づくりを実施(R5, 2回、12人)



(津軽白神森林生態系保全センター)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

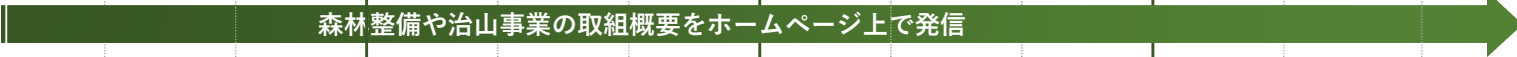
③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(津軽森林管理署)



取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>① 知る機会を増やす</p> <p>◎国有林野事業の広報</p>	<p>森林整備や治山事業の取組概要をホームページ上で発信</p> 			
<p>② 自分事と捉えることを促す</p> <p>◎教育活動</p>	<p>●</p>	<p>● ●</p> <p>小学生を対象とした 林業体験学習</p>		
<p>③ 行動を誘発する</p> <p>◎森林づくりへの住民参加</p>		<p>● ●</p> <p>公募による植樹 活動を実施</p>		

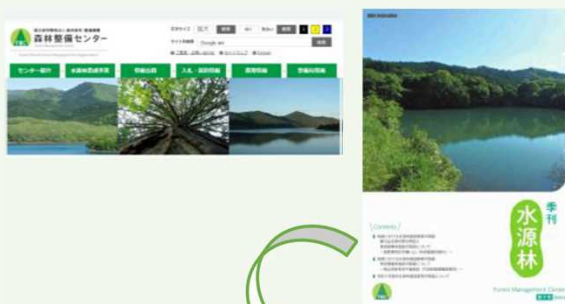
岩木川水系流域治水協議会（森林整備センター）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

水源造林事業の広報

○森林整備の取り組み概要をホームページや広報誌で発信



令和5年度の水源地造林業務の取組について

森林整備センターでは、農林水産大臣が定める「第5期中長期目標」（令和3～7年度）に基づき、「第5期中長期計画」及び「年度計画」を作成し業務を進めています。今回は4月1日からスタートした令和5年度計画での主な取組をご紹介します。

■主な取組について

自然災害が頻発化・激甚化する中で、流域保全等における役割が高まっていることから、森林所有者、造林者及び市町村等の関係者との連携強化を図りつつ、次の3点に取り組むこととしています。

事業の重点化

- 流域治水との連携を図りつつ、特に水源地整備の強化を図る事業性が高い流域での森林の整備を優先するとともに、開発跡地等の森林も含む新たな整備に取り組みます。
- 新規の契約については、広葉樹等の成育地を生かしながら、多伐期かつ多伐時の技術継承を軸とした取組を事業手法に設定するとともに、開発跡地については、育成複層林誘導伐とその後の補植を進めます。

事業の実施手法の高度化のための推進

- 森林整備事業全体の動向を踏まえつつ、成長の早い苗木などの新しい種類の活用や造林作業の省力化・省力化などに取り組んでいます。
- 流域高規格化防止や森林資源の確保利用、林業・木材産業の成長産業化等に資する観点から、育成複層林誘導伐等により、地域の雇創活動を踏まえた安定的・効率的な木材供給に努めます。

地域との連携

- 自然災害の頻発化・激甚化等を踏まえ、自然災害発生時に被災森林の迅速な復旧を図るため、地域との連携強化や支援に取り組んでいます。
- 森林整備センターが支援する技術検討会を通じて、林業関係者等一帯一帯整備技術の普及や水源地造林事業に対する理解の醸成を図ります。

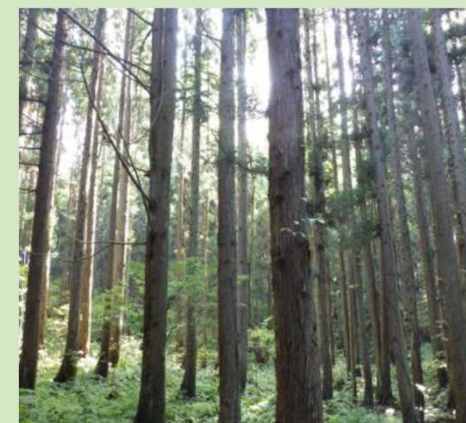
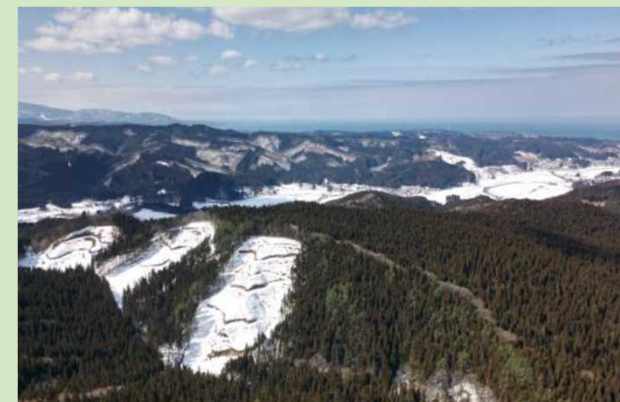
森林所有者等との会議

○所有する森林が、災害を防止するために重要な機能を持っていることを知り、公益的機能をさらに発揮させたいと考えるきっかけとする。（R5年度約30名）



育成複層林や長伐期化を推進

○森林所有者等と協力して、岩木川流域上流部の民有林において、育成複層林を造成（R5年度5ha、R6年度9ha予定）



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

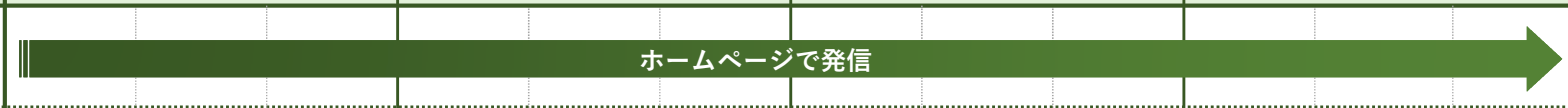
水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

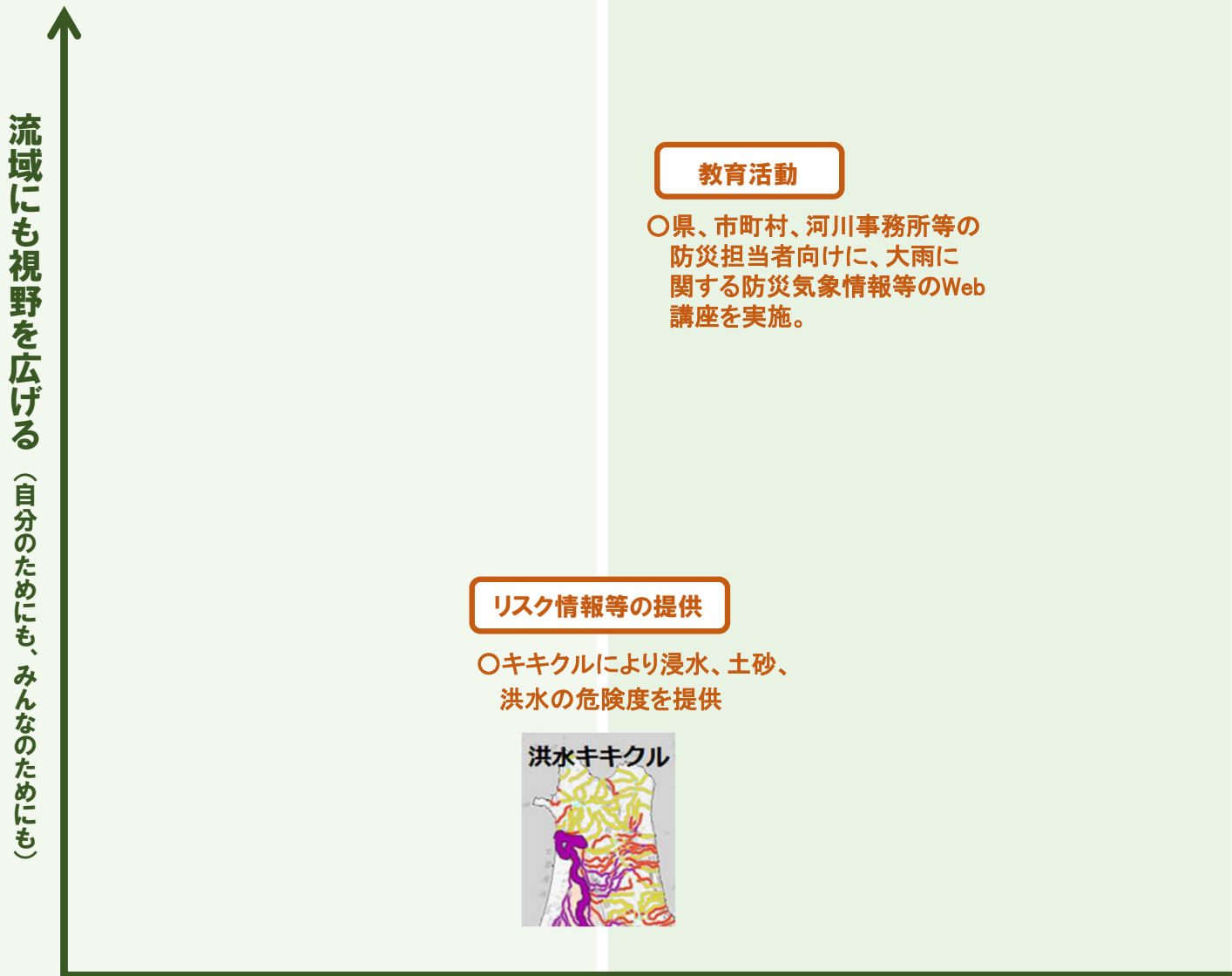
流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(森林整備センター)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>①知る機会を増やす</p> <p>◎水源林造成事業の広報</p>				
<p>②自分事と捉えることを促す</p> <p>◎造林所有地者等との協議</p>	<p>●</p> <p>造林事業打合せ会議</p>	<p>●</p> <p>森林整備センター広報誌</p>	<p>●</p> <p>分収造林契約に基づく主伐協議</p>	<p>●</p> <p>季刊水源林の発行</p>
<p>③行動を誘発する</p> <p>◎育成複層林や長伐期化を推進</p>	<p>●</p> <p>育成複層林（下木）の植栽</p>	<p>●</p> <p>育成複層林（上木）の伐採</p>		

岩木川水系流域治水協議会（青森地方気象台）

結果報告： 具体的取組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。



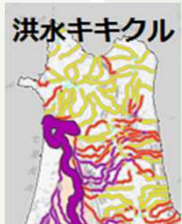
流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

教育活動

○県、市町村、河川事務所等の防災担当者向けに、大雨に関する防災気象情報等のWeb講座を実施。

リスク情報等の提供

○キキクルにより浸水、土砂、洪水の危険度を提供



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(青森地方気象台)



取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体			
	◎連携活動 地域 個人			
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	キックルにより浸水、土砂、洪水の危険度を提供		
	◎教育活動 地域	防災気象情報に関するWeb講座の実施		
	◎訓練活動 地域 個人			
③行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体			
	◎水災害対策の支援 個人			
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体			

岩木川水系流域治水協議会（岩木川ダム統合管理事務所）

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

連携活動

○「水陸両用バス」に「津軽ダム内部見学」がセットになったスペシャル運行『ニシメヤ・ダムレイクツアー』の開催
5月～10月 各月1日 2回 計12回



流域治水の広報

○河川空間の活用を通じた意識醸成「津軽ダムサマーフェスタ、浅瀬石川ダムダム湖ふれあいデー」を、森と湖に親しむ期間の期間に実施
2箇所、約1,200人



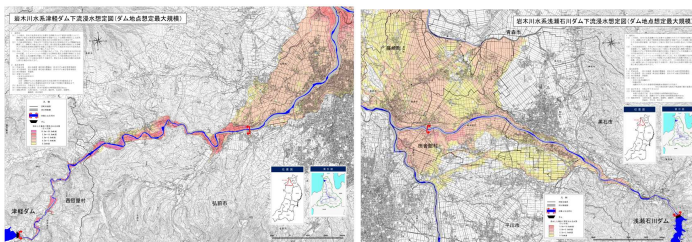
教育活動

○ダム見学による模型を用いた防災教育
津軽ダム 54回 1,429人
浅瀬石川ダム 56回 1,238人



リスク情報等の提供

○ダム下流浸水想定区域等を公表(ダム下流地区)
○総合的な防災マップの作成、洪水ハザードマップを更新



訓練活動

○住民参加型の避難訓練を実施
・浅瀬石川ダム(黒石市,藤崎町,田舎館村 1回 58人)
・津軽ダム(西目屋村 1回 4人)



災害対策の支援

○OTEC-FORCE、リエゾン、災害対策用機械等



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

岩木川流域治水協議会(岩木川ダム統合管理事務所)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>① 知る機会を増やす</p> <p>◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎連携活動 地域 個人 </p>		<p>● 河川空間の利活用を通じた意識の醸成（森と湖に親しむ旬間）</p>	<p>広報誌でダムの管理・水害土砂災害を啓発</p>	
<p>② 自分事と捉えることを促す</p> <p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎教育活動 地域 </p> <p>◎訓練活動 地域 個人 </p>	<p>放流通報連絡会</p>	<p>浸水想定区域等の公表、洪水ハザードマップの更新</p> <p>地方自治体への情報提供、メディア連携</p> <p>● 住民参加型の避難訓練</p>	<p>● 地方自治体への災害支援体制理解促進（TEC-FORCE、リエゾン、災害対策用機械等）</p>	<p>小中高校生の校外学習等、ニシメヤ・ダムレイクツアーの機会を利用しダムの役割等を説明</p>
<p>③ 行動を誘発する</p> <p>◎計画策定 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎水災害対策の支援 個人 </p> <p>◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体 </p>				